

平成27年10月7日

風は東から

To be continued...

2016 新チームスタート！！

志高く、目標に向かい日々努力する！！

選手権の**敗戦**を真摯に受け止め、謙虚な姿勢で失敗から学べ！！

新チームは、「**原点回帰**」、**覚悟**を決め、**志高い**目標を設定する！！



<三年生最後の公式戦 専門学校交流戦は**第三位**！！後輩たちから最高のプレゼント>

9月13日(日)、選手権二次予選一回戦である**VS 学習院**は、残念ながら力及ばず**2-6**で敗退しました。その後、18日に駒沢補助グラウンドで行われた専門学校・高等学校交流大会の準決勝である**国際学院戦**で、三年生の高校サッカーの公式戦は全て終了しました(**5(PK 3-5)-5**負け大会の成績は**第三位**でした。詳細はHPをご覧ください)。**選手権大会～専門学校交流戦**という、とてもハードな一週間でしたが、三年生にとっては高校生活の中で一番濃い思い出になったのではないのでしょうか？これは何度も紙面で述べてきましたが、最後までやりきったものだけが得ることのできる、何事にも代え難い貴重なものを子どもたちはサッカーを通して掴んだと思います。

今日まで、子どもたちが全力でサッカーに打ち込めたのは、保護者の方だけではなく、多くの方々のサポートやご理解・ご協力、応援があってこそ、子どもたちの成長した今の姿があります。チーム一同、言葉では語れない程、心から**感謝**しております。本当にありがとうございました。

しかし、高校生活はまだまだ続きます。これからは、サッカーで遠回りした分、今後の進路実現に向けて全力で取り組んで欲しいと思います。そして、最後まで東高サッカー部員としての誇りを持ち続けて生活し、三月の卒業式を迎えられることを願っています。

新チーム始動！！志高く、目標に向かって日々努力する！！

さて、新チームは、森（2年）新キャプテンを中心に、既に敗退した翌日から来年度の選手権に向けて活動しています。昨年度よりも志が高く、チームはいい位置からスタートを切りました。

「**負けたチームに休みなし！！**」

文化祭の代休やシルバーウィークを利用して、調布南、東久留米総合、神代、青稜、東大和、日大三、国分寺、青稜、駿台学園と休むことなくTRMを行い、早速、新チームの強化に乗り出しています。負けた時こそ、その後をどのように過ごすのか？ここが大切なポイントです。失敗を放っておけば失敗のままです。悔しいだけでは前には進めません。次の闘いはタイムアップの笛とともにスタートしています。涙など流している暇はないのです。失敗から学び成功するまで継続していくことが、やがて経験となり生きてきます。今は、選手権二次予選敗退という現実を謙虚な姿勢で真摯に受け止め、足りなかったことについて分析し、課題を克服するために日々のTRを全力で行うことが、東高サッカー部の成長となり今後につながっていきます。

先日、90歳で亡くなったサッカーの伝道師であり、「日本サッカーの父」と呼ばれたデットマー・クラマー氏は、以下のように「**負けることの大切さ**」を説いていました。

「**勝つことは大事であるが、負から学ぶことは非常に多い。しかし、そのためには、負けから何を学ばなければならないのかを知る必要がある。**」

特に後段のところ大切です。チームやゲームを分析し、できなかったこと、苦手なことを取り出して徹底的に繰り返しTRすることです。東高サッカー部では、基本的に自分たちの特徴やストロングポイントを磨くTRを日々行っています。自分の武器を磨く＝絶対に人には負けないもの、つまり**必殺技**を身に付けることです。各自が個性を伸ばしながら、それをお互いに理解し、「点と点」を結び付けてチームのスタイルを確立していけるよう指導しています。同時にサッカーに必要な不可欠なスキルで、自分が苦手なもの、足りないものを把握し、個人的に補っていく努力をしていかなければなりません。新チームになり、自主的にTRをしている子どもたちが増えています。一過性で終わることなく、この姿勢を継続して欲しいですね。「**努力は必ず報われます！！**」

新チームは、今まで以上に、「志高く、目標に向かって日々精進していきます！！」



< 山本昌邦氏によるサッカークリニック 記念撮影 >